

必修科目 麻酔科研修プログラム

この麻酔研修プログラムは、麻酔を中心として周術期患者の全身管理を習得することを目的としている。特に日常臨床では遭遇することが比較的少ない気管挿管を中心とした、すべての医師に求められる基本的臨床手技を効果的に習得できるように計画している。

とくに、術前の患者の状態評価、麻酔中の呼吸循環管理は内科系、外科系すべての病棟での患者管理に有益であるため、積極的に参加してこれらを習得できることを期待している。

1. 研修施設

獨協医科大学病院

2. 研修期間

2 か月～

3. 指導責任者

濱 口 眞 輔 教 授 山 口 重 樹 教 授

4. 研修内容

毎朝術前カンファレンス、抄読会、学会、研究会発表への参加

5. 研修目標

総 合 目 標	一 般 目 標 (G I O)
	麻酔管理における基本的な知識、技術を習得する
	到 達 目 標 (S B O)
	麻酔を行う上で必要な呼吸・循環動態の管理方法及び酸塩基平衡などを習得する 気道確保、気管挿管、動脈穿刺、中心静脈穿刺などの基本的な技術を習得する

	一 般 目 標 (G I O)
	麻酔を行うにあたって必要な基本的診察・検査などを習得する
	到 達 目 標 (S B O)
	術前管理に関する項目： 現病歴、既往歴、家族歴、麻酔歴などの聴取、記録ができる 「基本的な身体診察法」に基づいた診察により、患者の全身状態の把握と記載ができる

基本的な臨床検査	<p>血液一般、生化学、尿検査、肺機能検査の結果を解釈できる</p> <p>心電図、X線撮影、その他の画像診断所見を解釈できる</p> <p>上記項目を総合した手術・麻酔に関するリスクファクターが理解できる</p> <p>指導担当医との討論のうえで麻酔計画を作成できる</p> <p>インフォームドコンセントのもとに患者、家族への麻酔に関する説明ができる</p> <p>麻酔前カンファレンスで症例提示ができる</p> <p>麻酔機器に関する項目：</p> <p>麻酔器の構造を理解できる</p> <p>麻酔器の安全装置を理解できる</p> <p>医療ガスの取り扱いについて理解する</p> <p>麻酔・気管挿管に必要な器具の点検、準備を習得する</p> <p>麻酔に関するモニター機器の原理を理解できる（非観血的・観血的血圧、心電図、経皮的動脈血酸素飽和度、終末呼気二酸化炭素分圧、中心静脈圧に関して）</p>
----------	---

基本的手技	一 般 目 標 (G I O)
	麻酔に必要な基本的な手技を習得する
	到 達 目 標 (S B O)
	(下線の手技は本大学病院・全員共通研修項目の必修項目に該当する)
	麻酔記録を記載できる
	全身麻酔（概ね全身麻酔管理の手順に沿って記載してある）：
	麻酔に関するモニター機器を装着できる
	<u>注射法（主に静脈確保、中心静脈確保）を実施できる</u>
	<u>気道確保を実施できる</u>
	<u>気管挿管を実施できる</u>
<u>人工呼吸（バッグによる徒手換気、ベンチレーターとの装着と調節）を実施できる</u>	
<u>胃管の挿入と管理ができる</u>	
<u>導尿法を実施できる（尿量のモニターも含む）</u>	
<u>採血法（静脈血、動脈血）を実施できる（動脈血ガス分析を含む）</u>	
上記手技を総合して術中の呼吸・循環管理を行うことができる	
局所麻酔	
<u>局所麻酔法を実施できる</u>	
<u>腰椎穿刺法を実施できる</u>	
局所麻酔薬の使用方法を習得する	

基本的治療法	一般目標 (GIO)
	麻酔に必要な基本的な治療方法を習得する
	到達目標 (SBO)
	術中合併症への対応を修得する(全身麻酔、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔科における) 薬物の作用、副作用、相互作用について理解し、周術期の薬物療法ができる 静脈麻酔薬、吸入麻酔薬、筋弛緩薬の使用方法を習得する 昇圧薬、降圧薬、抗不整脈薬などの麻酔時に必要な薬物の使用方法を習得する 基本的な輸液ができる 輸血による効果と副作用について理解し、これを実施できる 各種モニター類の情報(データ)を解釈したうえで、治療に反映できる 動脈血ガス分析データを酸塩基平衡論理に基づいて解釈し、治療に反映できる ペインクリニック： 神経ブロック療法の機序・手技を理解し、習得する WHO方式がん疼痛治療法を習得する

6. 経験が求められる疾患・病態

経験が求められる疾患

気管支喘息	肥満
高血圧症	腎機能障害を来たす疾患
虚血性心疾患	肝機能障害を来たす疾患
かぜ症候群、咽頭炎など	肺機能障害を来たす疾患
糖尿病	

経験が求められる病態

脈拍異常(頻脈、徐脈、周術期不整脈)	低酸素血症
血圧異常(高血圧、低血圧)	喉頭痙攣
体温異常(高体温、低体温)	悪心・嘔吐